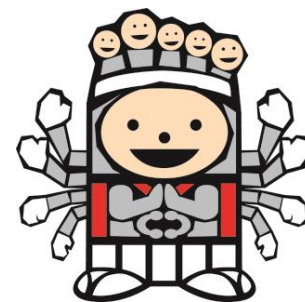


九州・沖縄地区認知症地域支援推進員活動報告
～ 認知症と地域の架け橋 のために ～



高鍋町地域包括支援センター

高鍋町

～地域を知る～



- 宮崎の中央にある町。自治体で、最も面積は小さい。児湯の中心として行政や教育が集中する「コンパクトシティ」
- 海に恵まれ、サーフィンスポットや、天然牡蠣産地、アカウミガメの産卵地。
- 農業も盛んで、キャベツ収穫後、ひまわり栽培し、環境保全活動として、日本最大規模のひまわり畑に発展。
- 高鍋藩三万石の城下町という歴史あり。秋月種茂公や石井十次など多数輩出している。

「孤児の父・日本福祉の先駆者」石井十次は

「高鍋は理想的な人材を育成するのに最も適したところだ」と評する。

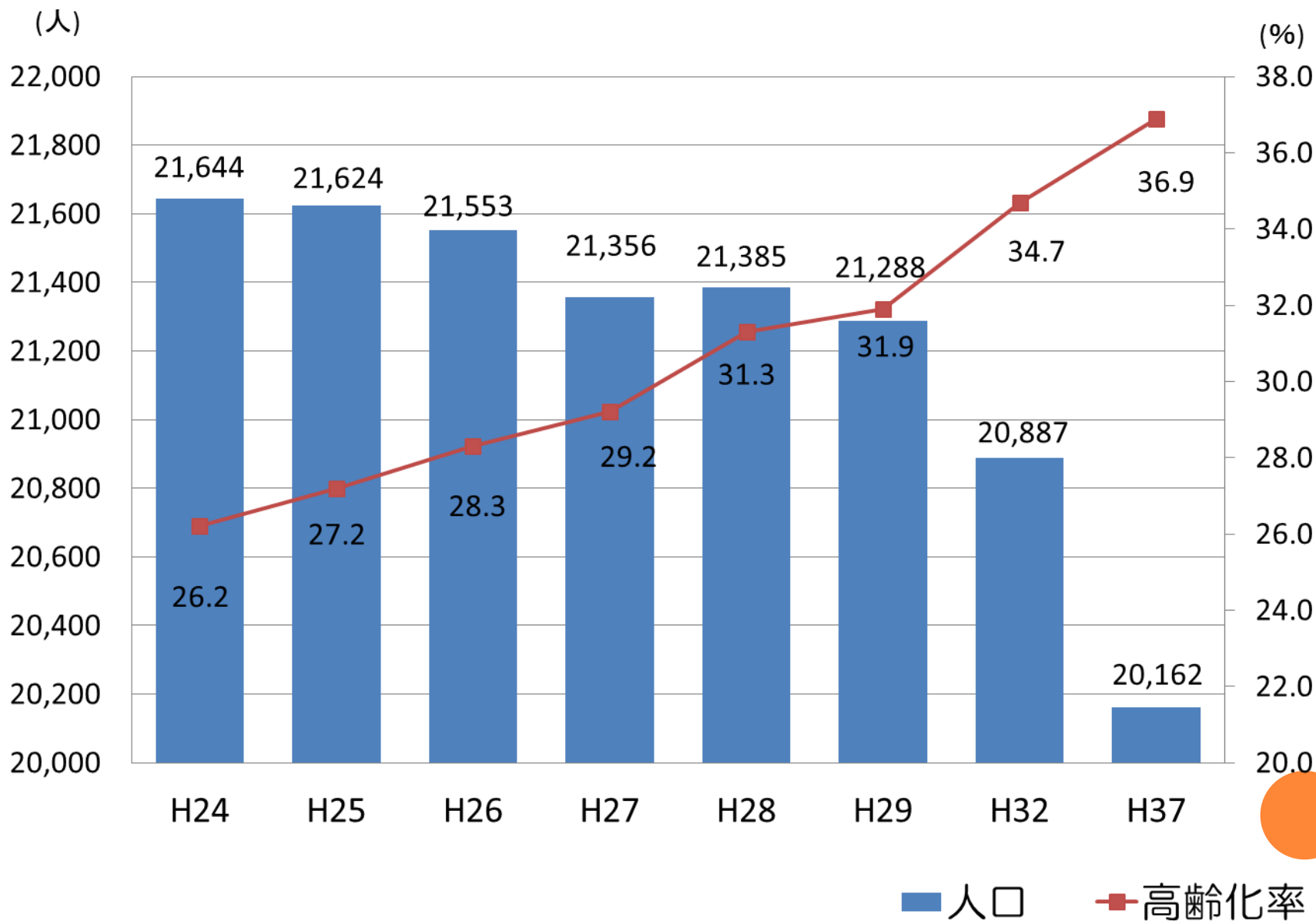
◆高鍋町の現状は？

平成29年4月30日現在

人 口	20, 785人
高齢者数	6, 450人
高齢化率	31. 03%
※宮崎県の高齢化率 (H28年.10月)	30. 3%



高鍋町の総人口と高齢化率の推移



認知症地域支援推進員とは・・・

- ・平成27年度配置:1人配置、保健師業務と兼任。
社会福祉協議会に委託地域包括支援センター

認知症の啓発や、地域の見守りのネットワークづくり、
病院との連携など認知症の人ができる限り住み慣れた、
安心した良い環境で暮らしていけるよう支援を行う



具体的に何をすればいいの・・・？
1人でどこまでできるだろうか・・・泣



認知症施策より ～新オレンジプラン～

- ① 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進
- ② 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護などの提供
- ③ 若年性認知症施策の強化
- ④ 認知症の人の介護者への支援
- ⑤ 認知症を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進
- ⑥ 認知症の予防法、診断法、治療法、リハビリテーションモデル、介護モデル等の研究開発及びその成果の普及の推進
- ⑦ 認知症の人やその家族の視点の重視

活動をふりかえり、位置づけを整理、課題から目標を！！

認知症施策より ～新オレンジプラン～

① 認知症への理解を深めるための普及・啓発の推進

- ・ 認知症サポーター養成講座の普及

連携機関に足を運び、消防、警察、高齢者クラブなどで講座開催 その都度内容を変更し実践型に！！

学校と地域をつなぐ教育のコーディネーターに依頼
⇒ 今年度 小学校、中学校 で開催決定

② 認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護などの提供

- ・ 隣接する町 審査会の3町

ケアパス検討委員会 設置 ⇒ 安心ガイド作成

- ・ 初期集中支援チーム 今年度始動

推進員と連携中 3町合同で推進委員の活動報告し情報交換を行う

オレンジプラン ④⑤

認知症介護者のつどい

H23年度に発足。定例会以外にも、施設の見学、男性介護者や交流のための料理教室、認知症カフェの見学など、認知症家族の方の意向を大事に。



◎介護者のつどいが中心となって、毎年1回**認知症シンポジウム**を開催し、講師を呼び認知症の理解や啓発活動を継続。

オレンジプラン④⑤

認知症の方の見守り、声かけ訓練

徘徊している高齢者がいたら、どうしたらいいのか。

対応の仕方やネットワークなどを学ぶ訓練。

現状→寸劇→実際に声かけ訓練→グループワーク→総評

地域、民生委員、介護者のつどい、警察、社協、行政参加。



- ・話しかけるのに勇気がある、こういう機会や相談窓口を知ることが大事
- ・認知症の方か判断が難しいが、困っている人を助けるのは特別ではなく、対応も同じと気付くことができた。
- ・日頃よりあいさつをしたり、交流をし、変化に気づける関係性や地域の繋がりが大事

高齢者等発見ネットワーク事業

行方不明となった高齢者等の安全を確保し家族等を支援したい

申請による事前
登録



行方不明等事案
の発生



協力事業所等へ支援要請



発見・保護



あんしん見守りネット

(高鍋町あんしん見守りネットワーク事業)



見守られて
いるという安
心感のなか
で生活して
いただきた
い



あんしん見守りネット (高鍋町あんしん見守りネットワーク事業)

通常の事業活動の中で普段と異なる状況を発見

健康保険課へ情報提供

子ども
福祉課
教育総務課

障がい者(児)
福祉課

高齢者
健康保険課

認知症介護者のつどいの方々から……

- ・家族を連れてきて、安らげる場所がない
- ・介護してて、相談にいけない
- ・地域の人に、認知症を身近に感じてほしい

オレンジカフェをしたい。
でも、予算は、人は、場所は……×

地域の方々から……

- 認知症は他人事
- 認知症になると介護が大変、怖い病気
- 認知症の人と触れ合う場所がない

認知症の理解が必要。
身近なこととして、みんなに考えてほしい。

認知症架け橋募金のとりくみ



「地域テーマ型募金」として、宮崎県共同募金会より、高鍋町共同募金委員会が選ばれる。

「めざせ！認知症に優しい町・高鍋」をテーマにし、啓発活動や、今後の取り組みに必要な事業を目的として、募金を活動団体、寄付者、企業、一般市民に募り、活用していく。



- ・地域の方や医療機関、施設などから 約66万円の募金に協力いただく
- ・いただいた募金をこの1年は、啓発活動、地域づくりとして利用。

認知症架け橋募金のとりくみ



「めざせ！認知症に優しい町・高鍋」をテーマにし、
プロジェクトを立ち上げ！！



委員：

認知症介護者のつどい
民生委員
婦人部会などの地域の

方

地域包括支援センター
社会福祉協議会

今年度より参加
小規模多機能
ケアマネ

認知症架け橋募金のとりくみ



「オレンジカフェ・はまぼう」オープン！！

認知症の人、家族、認知症に興味のある人が気軽に
つどい、相談できる場。

運営：認知症の介護者のつどい 地域包括支援センターなど
月1回第3水曜日 13時半～15時半 /ぐらんま茶寮





認知症 架け橋 川柳

めざせ！ 認知症に優しい町 **高鍋**



作品募集

高鍋町では、認知症にまつわる
そっと微笑みが生まれるような
川柳作品を募集します。
普段、認知症にかかわる方も
そうでない方も、
川柳をとおして認知症に
地域ぐるみで触れ合い、
認知症と地域をつなげる架け橋を
つくってみませんか。





20代から80代まで
424作品！！ 受賞
した作品は、のぼり旗
として 啓発活動に
活用！！

第5回「認知症シンポジウム」



～ みんなの地域にある、みんなの認知症のために ～

地域で、認知症の人や家族が安心して暮らせるように、認知症の人や家族の想いを理解し、対応を学ぶ。また、認知症を支える活動を共有できる場に。認知症を支えるパネル展を開催。介護者のつどい、認知症ケア専門士など 紹介のブースも用意。

共催：役場 認知症介護者のつどい 家族の会 認知症ケア専門士

1部：認知症家族の会 副理事 杉山 孝博先生 講演

「認知症の理解と援助」

2部：公演 与那城 敬 氏

東小学校合唱団

3部：宮崎リハビリテーション学院

作業療法学科 道本 純子先生

「母が教えてくれたこと～本人の日記から」



今後の展開……

- 「行政」
- 「地域包括支援センター・認知症地域支援推進員」
- 「社会福祉協議会」
- 認知症介護者のつどい
- 医療機関

連携しながら・・・ 地域とともに

今年度は行政と連携し、講演会を企画。オレンジカフェの増設や認知症予防講座の開催、講演会など啓発活動継続。

認知症しいては高齢者に優しいまちづくりにするために、地域の声を形にし、とぎれない支援を……



最後に・・・

地域が大切にしていること、人や家族、
支援している介護や医療の仲間を知り
顔が見える関係へ

そして・・・

様々な立場で、出来ることから一歩ずつ
始める ～つながる・架け橋～

目標は同じ、つながり協力しあい前へ